

芽生え幼稚園児たちも初出品

宇治市いけばな協会

花の美共演、きょうから生け花展

多彩な自然の花に個性と感性を込めて新たな美を表現する宇治市いけばな展 同市いけばな協会

ばな協会（小幡嶺甫会長）主催Ⅱがきょう21日から同市宇治里尻、宇治公民館で始まる。



今回は城陽市寺田大谷私立芽生え幼稚園（西岡京子園長）の年長組園児たちが初出品したⅡ写真Ⅱ。

芸術の秋を演出する市民文化芸術祭参加事業。市内で生け花を指導する各流派のうち13流派の92人が参加。ススキ、菊、リンドウなどの秋の花を中心に季節の果実も登場。食欲の秋へ誘う作品も。

初参加、出品した芽生え幼稚園では、毎週1回行儀作法を学びながら卒園時にはお点前ができることを目標に茶道と生け花の稽古を楽しんでおり、生け花は華道日本未生の佐藤

往栄さんが指導。今回は16人の園児が日ごろの成果を作品に表現し、「園児たちもちゃんと生け花作品の基本になっている。すごい」と、指導にあたった関係者も感激。

同展は22日までの2日間。1階では茶席も開設している。